

第1回栗東市地方創生懇談会 主な意見（会議後の意見）

（3）（仮称）栗東市人口ビジョン・総合戦略について

主な意見
● 部会で策定していく人口想定 of 基準となるシュミレーションについては、最悪場合 of 想定をしておくべきである。
● 転出者の増加による人口減少化への不安 ・ 年少人口 → 英才教育志向による県・私立小中高一貫校の為の転出 ・ 生産年齢人口 → J R 膳所・瀬田駅への新快速停車・湖南工業団地等への就労者の増加に伴い、住民メリットの多い方への転居 ・ 老年人口 → 旧新興住宅地の住民の高齢化に伴い、草津・大津・守山及び子供世帯に近い所等、買物交通の利便性を求めている転居（くりちゃんバスは、電車発着時刻や必要とする所にはメリットが無い）
● 農業従事者の高齢化・担い手不足による田畑・山林の減少が放置されている。土地のばら売り対して、土地保全活用・道路計画に質の高い開発・建築指導の徹底や幹線道路へ出る為の渋滞緩和（住み良いまちづくりの基本形）（防止策）が必要である。
● 市民文化、芸術活動の振興、推進は感謝しているが、栗東芸術文化会館さきらの利用については、演劇や音楽関係に対して優遇されており、他の文化活動には使い勝手が悪い。また、駐車場の利用料金の問題がある。
● 市民主体・市民協働・市民参画の構成員が各種団体の高齢者が多く、単発的な事業が多く、参加者の顔ぶれも固定化しており、メリット重視で市民つながり意識希薄、コミュニティ・ボランティアの意識の衰退、役員からの逃避、退会問題など、後継者が不足している。

（5）今後のスケジュールについて

主な意見
● アンケートの配布数について、1,000枚ぐらいの回答数があれば、随分と結果の誤差が少なくなるとの見解が他では多く見受けられる。40%の回収率であれば800枚ぐらいであり、予算との兼ね合いもあるが、もう少し配布してはどうか。
● 栗東市の小学校、中学校より守山市、草津市の小中学校の方が良いので、市外へ引越された方が何人かいる。また、栗東西中学校に行かせたくないと言っている保護者がいることも知っている。大宝西学区は新興住宅地が増えてきて小さな子どもも増えてきており、将来のことを考えると魅力ある学校作りも大切ではないかと思う。
● 栗東市には児童館があるのに、うまく活用されていない。これからの人口のことを考えていくと、子ども達を育てやすい環境や地域作りが不可欠である。アンケートにより皆さんの意見が少しでも聞けたらと思う。
● アンケートについて、回収率が40%弱では市民の声を聴くには不十分であり低いのではないかと。残り60%強が、市政への期待度・意識・愛市心が低いのが不安である。